



源泉徴収票インポート 定義ファイル 作成マニュアル

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社

◆「インポートファイル」と「定義ファイル」の違い

- ・「インポートファイル」・・・お客様がお持ちの明細データが入力されているファイル
- ・「定義ファイル」・・・明細情報をインポートする際に、データファイル内のインポート対象の行や無視する列、どの列がどんなデータ(支給額・控除額・勤怠情報等)なのかをWEB給システムへ知らせるファイルです。

◆ 定義ファイルを作り替えることで、いろいろな形式の明細データファイルをインポートすることができます。

◆ このマニュアルではCSVの場合を例に説明します。 WEB給システムは、CSV(カンマ区切り)とタブ区切りの2形式のファイルをインポートできます。

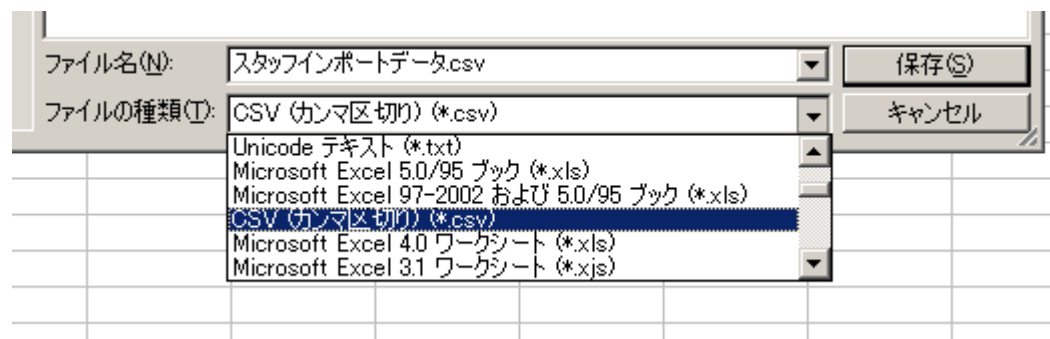
行、列とは？

- ◆ ExcelやCSVファイルでは、横方向(1,2,3)を「行」、縦方向(A,B,C)を「列」と呼びます。
- ◆ 図の「明」の「C5」セルは行・列では「5行」「C列」と呼びます。



	A	B	C	D	
1					
2	スタッフコード	姓	名	姓 ふりがな	名
3	A00035	鈴木	太郎	すずき	たろ
4	T10231	田中	次郎	たなか	じろ
5	Y00102	加藤	明	かとう	あき
6	S31002	山田	寛	やまだ	ひろ
7	R02012	池田	雅弘	いけだ	まさ
8					

- ◆ Excelで「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」をクリック
- ◆ 「ファイルの種類」で「CSV(カンマ区切り)(*csv)」を選ぶ
- ◆ ファイル名を指定して「保存」をクリック



- ◆ 定義ファイルCSVをExcelで開いたところです。
- ◆ セルA1には、データファイルの何行目から明細情報が始まるのかを書きます。(図では8行目から①)
- ◆ 2行目には、データファイルの各列が何の項目かを指定する「項目番号」を書きます。(次ページ参照)
- ◆ 3行目には、各列のデータが「文字列=1・金額=2・数値=3」のいずれであるかを指定します。
- ◆ 4行目には、各列の「項目名」を指定します。指定された項目名が明細画面とPDFに表示されます。

項目番号と項目の対応については次ページ以降をご覧ください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	① 8										
2	1	99	99	11	12	13	14	15	16	17	1
3	1			3	3	1	1	1	2	2	
4	支払いを受ける者			対象年度		支払いを受ける者	種別		支払金額		給与所得
5	氏名			元号	年	住所又は氏名			内書	支払金額	
6	受給者番号					役職名					
7											

項目番号の意味(1)



項目番号	源泉徴収票 項目名	種別	最大文字数	例	
1	支払いを受ける者-氏名-受給者番号	文字列	20	S1001	必須項目。受給者番号欄に記載される番号です。 Web給に登録するスタッフのスタッフコードと同一のものとしてください。
(99)	(支払いを受ける者-氏名-氏名)	文字列			※受給者の氏名は、Web給に登録されたスタッフ名が使用されます。インポートデータ上の氏名は閲覧性を高めるためのものです。
(99)	(支払いを受ける者-氏名-ふりがな)	文字列			
11	対象年度-元号	数値	1		4 源泉徴収票の年表示です。元号は「1:明治 2:大正 3:昭和 4:平成」
12	対象年度-年	数値	2		18 から選択してください。
13	支払いを受ける者-住所又は居所	文字列	100	東京都板橋区成増1-23-45	
14	支払いを受ける者-氏名-役職名	文字列	15	課長補佐	
15	種別	文字列	10	給与・賞与	
16	支払金額-内書	金額	10	300000	
17	支払金額-支払金額	金額	10	50000000	
18	給与所得控除後の金額	金額	10	100000	
19	所得控除の額の合計額	金額	10	30000000	
20	源泉徴収税額-内書	金額	10	1000000	
21	源泉徴収税額-税額	金額	10	10000000	
22	控除対象配偶者の有無等-有	数値	1		1 当てはまる場合「1」を入力してください。当該欄に「○」が記載されます。
24	控除対象配偶者の有無等-従有	数値	1		
26	控除対象配偶者の有無等-老人	数値	1		
27	配偶者特別控除の額	金額	10	3000000	
28	扶養親族の数(配偶者を除く)-特定-人	数値	1		2
29	扶養親族の数(配偶者を除く)-特定-従人	数値	1		
30	扶養親族の数(配偶者を除く)-老人-内書	数値	1		
31	扶養親族の数(配偶者を除く)-老人-人	数値	1		

項目番号の意味(2)



項目番号	源泉徴収票 項目名	種別	最大文字数	例	
32	扶養親族の数(配偶者を除く)-老人-従人	数値	1		
33	扶養親族の数(配偶者を除く)-その他-人	数値	2		
34	扶養親族の数(配偶者を除く)-その他-従人	数値	2		
35	障害者の数(本人を除く)-特別-内書	数値	1		
36	障害者の数(本人を除く)-特別-人	数値	1		
37	障害者の数(本人を除く)-その他-人	数値	1		
38	社会保険料等の金額-内書	金額	10	50000	
39	社会保険料等の金額-社会保険料等	金額	10	500000	
40	生命保険料の控除額	金額	10	100000	
41	地震保険料の控除額	金額	10	120000	
42	住宅借入金等特別控除の額	金額	10	150000	
43 (摘要)		文字列	100		<p>以下の項目がある場合、必要な情報を文章で記載してください。</p> <p>1: 年の途中で就職した方について、その就職前に他の支払者が支払った給与等を通算して年末調整を行った場合</p> <p>2: 「賃金の支払の確保等に関する法律」第7条の規定に基づき未払給与等の弁済を受けた退職勤労者</p> <p>3: 災害により被害を受けたため給与所得に対する源泉所得税及び復興特別所得税の徴収の猶予を受けた場合(災害者欄に「1」入力の上で)</p> <p>なお、Web給内の自動処理で、上記以外の項目が摘要欄に追加されることがあります。</p>

項目番号の意味 (3)

項目番号	源泉徴収票 項目名	種別	最大文字数	例	
44	配偶者の合計所得	金額	10	10000000	
45	旧個人年金保険料の金額	金額	10	300000	
46	旧長期損害保険料の金額	金額	10	200000	
47	未成年者	数値	1		当てはまる場合「1」を入力してください。当該欄に「○」が記載されます。
48	乙欄	数値	1		
49	本人が障害者-特別	数値	1		
50	本人が障害者-その他	数値	1		
51	寡婦-一般	数値	1		
52	寡婦-特別	数値	1		
53	寡夫	数値	1		
54	勤労学生	数値	1		
55	死亡退職	数値	1		
56	災害者	数値	1		
57	外国人	数値	1		
58	中途就・退職-就職	数値	1	1	
59	中途就・退職-退職	数値	1	1	
60	中途就・退職-元号	数値	1	4	
61	中途就・退職-年	数値	2	18	
62	中途就・退職-月	数値	2	4	
63	中途就・退職-日	数値	2	1	
64	受給者生年月日-元号	数値	1	3	
65	受給者生年月日-年	数値	2	54	
66	受給者生年月日-月	数値	2	4	
67	受給者生年月日-日	数値	2	31	

項目番号の意味(4)

項目番号	源泉徴収票 項目名	種別	最大文字数	例	
68	未成年16歳未満人数	数値	2	12	
69	新生命保険料の金額	金額	10		
70	旧生命保険料の金額	金額	10		
71	介護保険料の金額	金額	10		
72	新個人年金保険料の金額	金額	10		
73	住宅借入金等特別控除可能額 ※1	金額	10		
74	国民年金保険料等の金額 ※1	金額	10		
75	居住開始年月日(1回目)-元号 ※1※3	数値	1		居住開始年月日表示です。
76	居住開始年月日(1回目)-年 ※1	数値	2		
77	居住開始年月日(1回目)-月 ※1	数値	2		
78	居住開始年月日(1回目)-日 ※1	数値	2		
80	非居住者である親族の数 ※2	数値	2		扶養家族のうち「区分」欄に○が記載される家族の人数です。
81	住宅借入金等特別控除適用数	数値	2		
82	居住開始年月日(2回目)-元号 ※3	数値	1		居住開始年月日表示です。
83	居住開始年月日(2回目)-年	数値	2		
84	居住開始年月日(2回目)-月	数値	2		
85	居住開始年月日(2回目)-日	数値	2		

※1 従来の書式では摘要欄記載でしたが、独立した表記欄になりました。

※2 項目番号80以降が、平成28年から追加された項目となります。

※3 元号は項目としては存在しますが、徴収票上には表示されません(平成28年現在)。

項目番号の意味 (5)



項目番号	源泉徴収票 項目名	種別	最大文字数	例	
86	住宅借入金等特別控除区分(1回目)	文字列	10	増(特)	以下の記号のうち、当てはまるものを文字で入力してください。 「住」一般の住宅借入金等特別控除(増改築を含む) 「認」認定住宅の新築等に係る住宅借入金等特別控除 「増」特定増改築等住宅借入金等特別控除 「震」東日本大震災によって自己の居住の用に供していた家屋が居住の用に供することができなくなった場合で、平成23年から平成31年6月30日までの間に新築や購入、増改築をした家屋に係る住宅借入金等について、震災特例法第13条の2第1項「住宅の再取得等に係る住宅借入金等特別控除」の規定の適用を選択した場合 また、特定取得に該当する場合には、「(特)」を付記します。
87	住宅借入金等特別控除区分(2回目)	文字列	10	増(特)	
88	住宅借入金等年末残高(1回目)	金額	10		
89	住宅借入金等年末残高(2回目)	金額	10		
90	配偶者特別控除の対象となる配偶者	数値	1	1	「1」を入力すると、配偶者が特別控除配偶者として扱われます。その場合、配偶者の氏名等は控除対象配偶者欄ではなく、摘要欄に記載されます。
91	摘要(赤書)	文字列	100	〇〇条約〇〇条該当	租税条約に基づいて源泉所得税額の免除を受ける場合に記載します。摘要欄の中で赤書されます。

項目番号の意味(6)



項目番号	源泉徴収票 項目名	種別	最大文字数	例	
300	控除対象配偶者-氏名	文字列	30		配偶者あるいは扶養家族の氏名です。扶養家族は最大20名登録可能です。徴収票の表示欄に入りきらなかった扶養家族は、摘要欄に記載されます。
301	控除対象扶養親族1～20-氏名	文字列	30		
400	控除対象配偶者-フリガナ	文字列	60		
401	控除対象扶養親族1～20-フリガナ	文字列	60		
500	控除対象配偶者-区分	文字列	1	1	
501	控除対象扶養親族1～20-区分	文字列	1	1	
601	控除対象扶養親族1～20-16歳未満	文字列	1	1	扶養家族が16歳未満の場合、この欄を空白以外にしてください。徴収票上で「16歳未満の扶養家族」欄に記載されます。

※ 書式の詳細については、国税庁の
「平成28年分給与所得の源泉徴収票の記載のしかた」
をご参照ください。

https://www.nta.go.jp/mynumberinfo/jizenjyoho/hotei/pdf/hotei1_1_2.pdf

◆ .csvファイルをエクセルで表示した際のサンプル画面です。
前ページまでに説明した内容をサンプルデータを用いて、ご説明致します。

■ 定義ファイル

「WEB給」は社員番号から名前を割り当てますので「定義ファイル」には「99」を入力します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1	8														
2	1	99	99	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
3	1			3	3	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3
4	支払いを受ける者			対象年度		支払いを受ける者		種別	支払金額		給与所得控除		源泉徴収税額		控除対象
5	氏名			元号	年	住所又は氏名			内書	支払金額		内書		税額	有
6	受給者番号					役職名									

「インポートファイル」では実データが8行目から始まっているので「定義ファイル」には「8」と入力します。→1~7行目の項目はインポートに反映されません。

■ インポートファイル

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1	源泉インポート用サンプルファイル														
2	1	99	99	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
3	1			3	3	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3
4	支払いを受ける者			対象年度		支払いを受ける者		種別	支払金額		給与所得控除		源泉徴収税額		控除対象
5	氏名			元号	年	住所又は氏名			内書	支払金額		内書		税額	有
6	受給者番号					役職名									
7															
8	D00001	民山	一郎	4	19	〇〇市△△		給与・賞与		1,752,280				98,400	
9	D00002	民川	二郎	4	20	さいたま市:課長		給与・賞与	1	18,425,703	33332	33333	4	4,503,265	
10	D00003	民野	三郎	4	21	東京都新宿		給与・賞与	44441	6,478,512	44442	44443	33335	2,874,512	

「インポートファイル」にも項目名と項目番号を入力しておくとう分かりやすいです。